

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-006

PDCA	事務事業名	半田市観光協会支援事業	部課等名	市民経済部観光課	担当	酒井	
					内線等	326	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (2) 観光振興のための連携強化 個別施策： ②各種団体との連携強化					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	観光客の対応や観光イベントの企画・運営等、魅力ある観光地づくりの中心的存在である半田市観光協会の活動を支援するため、同協会の事業費等を補助することで、半田市観光の魅力向上とおもてなし体制の充実を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・半田市観光協会事業費等への補助金交付 ・半田市観光協会主催イベント等への運営支援					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①アイブラザ半田案内所利用実績	60,906	31,029	8,833	人	
		②駅前案内所利用実績	15,764	15,712	9,936	人	
		③半田市観光協会ホームページの訪問回数	452,497	619,715	408,308	回	
		事業費	12,850	12,901	12,738	千円	
		人件費	312	311	309	千円	
		総事業費	13,162	13,212	13,047	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①市内観光案内所利用者一人当たりの事業費	172	283	695	円/人		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①年間観光入込客数	実績値	1,681	1,669	556	千人
		目標値	1,630	1,700	1,730		
			実績値				
			目標値				
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	D					
		新型コロナウイルス感染症の影響により、市内への来訪者が大きく減少し、アイブラザ半田観光案内所及び知多半田駅前観光案内所（クラシティ内）の利用者数も、対前年度比でそれぞれ約66%、約63%に減少した。こうした状況の中においても、令和2年度は、PR動画のオンライン配信、Googleストリートビューの活用、SNSのハッシュタグキャンペーン、ホームページの拡充など、アフターコロナを見据えたデジタルによる観光情報（市内観光スポット、イベント、飲食店等）の発信を強化した。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けると見込まれるが、アフターコロナを見据えた、SNSやホームページ、メディア、PRキャンペーンを始めとする多様な広報手段を活用した情報発信により、将来の観光客の誘客につなげる。知多半田駅前観光案内所については、利用に係る需要を踏まえて、クラシティ1階での有人の案内所からクラシティ3階における観光情報コーナー設置（サイネージ・案内看板・パンフレット設置等）へと形態を変更し、より効果的・効率的な観光案内を行っていく。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値			単位
			①年間観光入込客数（新型コロナウイルスの影響がない場合）	1,760			千人